

産婦人科

【診療内容】

当院産婦人科は日本産科婦人科学会認定医5名の常勤医・専攻医1名と、岐阜大学から2名の非常勤医師の協力により、地域住民の皆様に「婦人科腫瘍学」「周産期医学」「生殖内分泌学」「女性医学」の産婦人科すべての分野において、24時間体制で安全かつ質の高い診療・治療を提供することを最大の目標とし、産婦人科専攻医指導施設として若手医師の指導・育成も積極的に行っています。

周産期

周産期治療専門医が加わり、より質の高い診断・治療が提供できる環境となっています。「胎児ドック」を開設し、超音波による胎児発育や各臓器の形態を観察するとともに、胎児の機能的な問題点もスクリーニングしております。このドックは、当院での分娩予定のいかんを問わず、多くの患者さんに利用していただいております。このような精密な検査をもとに診断された患者さんを総合病院としての特性を生かし、小児科のみならず麻酔科・内科・外科・脳神経外科などとの連携によりさまざまなケースにおいてスピーディーに対応しています。

NICU対応が必要な患者様に対しては、「岐阜県妊婦救急搬送システム」に従い、地域の主幹病院である岐阜県総合医療センターや岐阜大学病院などと綿密な連携を図り、患者さんが安心して分娩を迎えられる施設として日々努力しています。

助産師によるケアサポートは、産後1ヶ月健診だけでなく、退院後1週間にも実施しており、分娩直後からすべての時期に患者・家族のトータルケアサポートを目指しています。平成29年度からは笠松町との連携で出産後の母親の育児相談を24時間体制で受け付ける「育児ほほえみ相談事業」の委託施設として、1歳未満の子を持つ母親を対象に寄り添うケアをモットーに新米ママの不安を和らげるべき一役を担い、切れ目のない支援を提供しています。また、母乳マッサージの依頼は年間300件で予約以外にも緊急対応しており、当院のみならず他院で分娩された方にも自律授乳を目標に乳房管理のお手伝いをしています。

分娩後は、十分な休養もなく自身のケアもないまま、慌ただしく育児が始まります。当院では資

格を有する専任スタッフがリラクゼーションを目的として、全ての患者さんにアロママッサージを実施しています。香りの選択も可能でご希望に沿った癒しのひとときを提供しています。

生殖医学・不妊症

不妊症治療では、極力自然な妊娠を目指しています。しかしながら女性因子・男性因子などさまざまな原因により、自然妊娠が困難なカップルが近年増加していることは周知のことと思います。このため系統的な検査を行い、治療のスタートをタイミング指導による自然妊娠とするか、人工授精からにするか、あるいは最初から高度生殖補助医療（IVF-ET）が必要かを判断しています。

また、画一的治療ではなく、個々の年齢に応じ治療内容を変化させ、可能な限り早期に妊娠成立できるよう計画しています。

さらに泌尿器科と連携し、micro TESE-ICSI（顕微鏡下精巣精子採取顕微受精）を実施し、良好な成績を得ています。

不妊治療では、治療テクニックのみならず、精神的ケアのバックアップも重要であり、当院では、不妊カウンセラー・体外受精コーディネーターの育成にも力を入れています。

原発性無月経は、ホルモン不応症や遺伝子・染色体異常などが原因となることが多く、治療法が確立していない場合があります。思春期・小児期に見つかることが多く、その子の将来に密接に関わるため、当院では、生殖医療指導医が治療にあっています。

最近では、結婚前に性感染症や不妊のリスクなどを調べる「プライダルチェック外来」に多くのご依頼があります。血液検査や超音波検査を行い、感染症以外に子宮や卵巣の状態を知ることができ、晩婚化に伴い子宮頸がんの有無を確認することも重要な検査項目となっています。

腫瘍・手術

近年婦人科医療、特に手術を取り扱う施設の減少により、悪性腫瘍であっても数ヶ月の手術待機期間が生じていることは大きな問題となっています。当院では、可能な限り早期に対応できるよう無駄のない診療計画を心がけており、他院からの紹介も積極的に受けています。また、低侵襲手術への期待は非

常に大きく、当院でも腹腔鏡下手術の技術向上と適応の拡大を目指し、日々努力しています。

婦人科腫瘍においては、腫瘍治療専門医を中心に、子宮筋腫や子宮腺筋症などの良性子宮腫瘍だけでなく、進行した子宮体癌・子宮頸癌・卵巣癌の症例に対しても積極的に手術を行っています。

治療は婦人科がん治療ガイドラインを遵守し、一人の医師の判断ではなく、婦人科治療専門医を中心にチーム内で総合的に判断し、個々の症例に最も適した手術療法・抗癌化学療法・放射線療法を提供することをモットーとしております。

子宮筋腫に対しては、開腹手術だけでなく経膈手術に対応しているほか、良性の卵巣腫瘍などには積極的に腹腔鏡下手術を実施し、良好な成績をおさめています。また、異所性妊娠に伴う腹腔内出血や卵巣腫瘍茎捻転などの緊急対応が必要な症例では、24時間対応しております。

子宮頸部異形成や初期子宮頸がんに対しては、短期入院で対応しています。

骨盤臓器脱・手術

子宮脱は、中高年女性の生活の質「QOL」低下に影響を与える疾患です。従来は多くが子宮脱と診断されていましたが、実際は、骨盤内にある膀胱・子宮・膈・直腸などが本来の位置から下垂して膈から脱出してくる状態で、近年この病態に対して骨盤臓器脱という名称が用いられるようになりました。ペッサリーを使用した保存的治療では、積極的に自己着脱を指導し、高齢であっても多くの方がQOLを維持できています。手術療法は経膈手術を基本とし、従来法である膈式子宮全摘術及び膈壁形成術、膈断端仙骨子宮靭帯あるいは仙棘靭帯固定術を中心に、症例に応じてTVM手術（膈前後壁をポリプロピレンメッシュで補強）を実施しています。85才以上の高齢者や合併症を有した場合には、膈閉鎖術やマンチェスター手術など個々のライフスタイルに最適な治療法を提供し「QOL」の向上を目指しています。

以上のように最近の産婦人科医療での専門化・細分化は著しく、当院でも各スタッフが専門性を発揮し治療に携わっています。主たる担当医は次のとおりですので、この点を考慮いただき紹介あるいは受診していただくとスムーズな診療につながるかと存じます。

不妊症：松波

悪性腫瘍：今井・市古

腹腔鏡下手術：高木

周産期：川緒

若年・更年期内分泌異常：今井

骨盤臓器脱：高木

診療年報 2018 年度	
項目	(件数)
分娩総数	236
内 多胎妊娠	0
帝王切開	72
内 緊急	11
周産期死亡（22週以降）	0
手術室手術	
子宮附属器腫瘍摘出術（除茎捻転）	45
内 腹腔鏡下	36
子宮附属器茎捻転	7
内 腹腔鏡下	1
異所性妊娠手術	2
内 腹腔鏡下	2
子宮筋腫核出術	17
内 腹腔鏡下	2
腹式単摘	49
膈式単摘	18
腹腔鏡下単摘（TLH）	3
広汎子宮全摘術/リンパ節廓清術	3
準広汎子宮全摘術/リンパ節廓清術	2
子宮（拡大）単摘/リンパ節廓清術	7
卵巣癌（含境界悪性・卵管癌）根治術	7
その他腹式手術	2
その他腹腔鏡下手術	1
子宮頸部円錐切除術	31
その他膈式手術	7
（除アウス、頸管ポリープ切除、レーザー蒸散）	18
骨盤臓器脱手術	20
内 TVM	8
腹腔鏡手術合計	45
開腹手術合計（除膈式単摘・帝王切開）	96
子宮頸部高度異形成（含上皮内癌）	31
子宮頸癌	4
子宮体癌	10
卵巣癌（含境界悪性・卵管癌）根治術	7
その他悪性腫瘍	0

〔文責：高木 博〕